

令和5年度

事業報告書



社会福祉法人 博愛会

## I 事業概要

### 1 概要

## II 事業実績

- 1 高齢福祉部 【介護老人福祉施設博愛苑】
- 2 高齢福祉部 【短期入所（予防短期入所）生活介護博愛苑】
- 3 地域福祉部 【デイサービスセンター博愛苑】
- 4 地域福祉部 【グループホームみのりの里】
- 5 地域福祉部 【居宅介護支援事業所博愛苑】
- 6 地域福祉部 【米子市箕蚊屋地域包括支援センター】
- 7 地域福祉部 【みのかや運動処よらいや】
- 8 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえA型】
- 9 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえB型】
- 10 障がい福祉部 【放課後等デイサービスすまいるステーションときぞう】
- 11 障がい福祉部 【生活介護ときぞう】
- 12 障がい福祉部 【相談支援事業所りんく】

## III 利用状況

- 1 高齢福祉部 【介護老人福祉施設博愛苑】
- 2 高齢福祉部 【短期入所（予防短期入所）生活介護博愛苑】
- 3 地域福祉部 【デイサービスセンター博愛苑】
- 4 地域福祉部 【グループホームみのりの里】
- 5 地域福祉部 【居宅介護支援事業所博愛苑】
- 6 地域福祉部 【米子市箕蚊屋地域包括支援センター】
- 7 地域福祉部 【みのかや運動処よらいや】
- 8 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえA型】
- 9 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえB型】
- 10 障がい福祉部 【放課後等デイサービスすまいるステーションときぞう】
- 11 障がい福祉部 【生活介護ときぞう】
- 12 障がい福祉部 【相談支援事業所りんく】

## IV 事業報告の付属明細書

## I 事業概要

### 1 概要【法人】

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、法人内でも様々な場面で活動が増え、利用者家族や地域の方々との交流の場も少しずつ増えてきている。

法人理念「笑顔と安心の輪を広げる」の実現のため、質の高いサービス提供、効果的な組織づくり、適正人材の確保、財政の健全化に傾注してきた。

通所事業所は利用者数・稼働率の増加、障がい福祉部の各事業も安定した運営を行うことができたが、入居施設である介護老人福祉施設、グループホームみのりの里においては、入居待機者数が減少、退去から次の入居者が決定するまでに時間を要することがあった。要因として、同程度の利用料金で様々なサービスを利用できるサービス付き高齢者住宅利用希望の増加、入居申込者の管理、渉外活動の不足が考えられる。

生産性の向上を努めつつ、将来にわたって質の高いサービスを安定的に提供するため、離職の防止に努めながら、人間性豊かな職員を育成、適正人材の確保を推進する一方で、介護老人福祉施設では、退職者が増加、職員不足と相まってケアの質が低下するなどの問題が生じていた。この問題は、上司と部下との関係、職員同士の横の関係等、意思疎通が十分に果たせていないことに起因するものと捉え、令和6年2月1日付で組織変更を行った。大所帯だった旧高齢福祉部を、特養全体を管轄する高齢福祉部、在宅部門とグループホームを管轄する地域福祉部に分割、更に高齢福祉部の介護部門を2課長から4課長体制に再編し、主たる事業である介護老人福祉施設の再編を優先的に取り組み、企業風土の醸成やケアの質向上、盤石な財政基盤の確立に努めることとした。障がい福祉部については現行通り、総務部は総務課、総合企画課として法人本部へ統合し、「風通しの良い組織づくり」の確立を目指している。

## (1) 法人活動実績

実施した事柄	目的	成果	日付
入社式	法人理念の浸透	9名の入社	令和5年4月
一部の清掃活動参加	地域貢献	地域貢献	令和5年4月
事業計画運営方針 説明会	法人事業計画の共通 認識	各部門における適正 な事業運営	令和5年4月
置き型社食導入	福利厚生 雇用推進に繋げる	毎月完売に近い利用 率で、職員の満足度 向上	令和5年6月
高校・介護福祉士養 成校訪問	採用活動	学校、教師との関係 作り	令和5年7月
米子市フレイル対策 事業受託	米子市からの委託	36名がご利用され た。(内よらいやの利 用は18名)	令和5年7月
七夕行事	部署間交流	高齢者、障がい児と の交流	令和5年7月
高校生ボランティア 受け入れ	地域交流、採用活動 の推進	採用活動の推進	令和5年8月
100歳記念 内閣総理大臣賞	行政からのお祝い	対象者1名(介護老 人福祉施設)	令和5年9月
法人監査	法人運営の適正化	指摘事項なし	令和5年10月
オールジャパンケア コンテスト	介護技術の向上と参 加者のモチベーショ ンアップ	介護技術の習得	令和5年10月
ふれあいフェスタ	地域交流	地域住民との交流	令和5年11月
研修旅行	職員の親睦・交流	他事業所の職員との 親睦・交流	令和5年11月・1 2月
高機能換気設備導入	感染症予防	空調の管理と経費削 減	令和5年12月
博愛会忘年会	職員同士の親睦	93名の出席	令和5年12月
餅つき	季節の行事の実施	法人内全部署での交 流	令和5年12月
互礼会	新年の挨拶		令和6年1月
組織改変	企業風土の醸成や ケアの質の向上、 財政基盤の確立	各事業所に於ける風 通しの良い職場	令和6年2月

居宅介護支援事業所・箕蚊屋包括支援センター移設・改修	職員増員による整備	職員の増員	令和6年3月
----------------------------	-----------	-------	--------

(2) 評議員会・理事会・監査会・評議員選任解任委員会

項目	出席者	日付
決算監査会	監事2名	令和5年5月13日
理事会(第1回)	理事6名、監事2名	令和5年5月30日
評議員選任解任委員会	外部委員2名、監事1名、法人内1名	令和5年5月30日
定時評議員会	評議員8名、理事4名、監事2名	令和5年6月20日
理事会(第2回)	理事6名、監事2名	令和5年6月21日
理事会(第3回)	理事6名、監事2名	令和5年9月26日
理事会 (第4回、決議の省略)	理事6名	令和5年12月5日
中間監査会	監事2名	令和5年11月22日
理事会(第5回)	理事6名、監事2名	令和6年3月5日
評議員会(第2回)	評議員6名、理事4名、監事2名	令和6年3月28日

(3) 職員状況

ア 職員数：181名(令和6年3月31日現在)

イ 入職・退職について 令和5年4月1日～令和6年3月31日

部署	入職	退職	職員数 (3月31日現在)
介護老人福祉施設	17名	8名	76名
デイサービスセンター	5名	2名	27名
グループホームみのりの里	2名	2名	17名
居宅介護支援事業所	1名	1名	4名
米子市箕蚊屋地域包括支援センター		1名	7名
みのかや運動処よらいや	1名	1名	2名
就労継続支援事業所あそしえA型	3名	1名	14名
就労継続支援事業所あそしえB型			5名
すまいるステーションときぞう	2名		11名

生活介護ときぞう			3名
りんく			1名
本部	1名	2名	14名
計	32名	17名	181名

## II 事業実績

### 1 高齢福祉部【介護老人福祉施設博愛苑】

#### (1) 活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
高機能センサー付きベッド導入（9台）	入居者の転倒防止 業務負担軽減	入居者毎に合わせたセンター設定をすることで、必要時のみの訪室で対応できるようになった。	令和5年3月
無資格者全員が認知症基礎研修受講※ 2024～有資格者配置が義務化	サービスの質の底上げ	全職員が介護の基礎知識を習得できた。	令和5年3月
ユニットケア勉強会の実施	ユニットケアについて知識と理解を深める。	ユニットリーダー研修参加者による勉強会を実施、各ユニットで新たな取り組みを実施、サービス質向上に繋がった。	令和5年12月
入居者の誕生日会	入居者満足度向上	入居者同士での会話のきっかけとなった。	毎月実施。
おやつ作り	入居者満足度向上 機能訓練	好きなおやつを一緒に作り食べることでやりがい・楽しみを持っていただけた。	年7回実施。
おやつバイキング	入居者満足度向上	好きなおやつを自ら選び、他者と一緒に食べることで楽しんでいただけた。	5月23日
外出行事	個別ケアの充実	入居者の気分転換。 担当職員の責任意識、企画力を学ぶことができた。	年3回実施
他部署との合同行事	児童との関わりの場	喜ばれ、次回を楽しみにさ	年3回実施。

	づくり 職員の他部署間連携 関係構築	れている。 他部署の機能を理解し、ま た職員の連携がしやすくな ってきている。	
GH 抹茶ボランティア	入居者満足度向上 地域交流	地域ボランティアとの交流 を通じ、入居者が楽しんで いただき、また地域連携に 向けた関係づくりを行って いく。	年3回実施。
敬老会 (長寿のお祝い)	入居者に生き甲斐を 感じていただく	感謝とお祝いの意をお伝え し、喜んでいただく。	9月19日
フラワーアレンジ メント	作業療法の充実を図 る。	先生とのコミュニケーション も図りながら、お花を 活ける楽しみを感じる事 で、入居生活に楽しみを見 いだせた。	年4回実施
コーヒー喫茶	他者と交流を図る。	他者との交流を行い、生活 にハリを持つことが出来 た。	年2回実施
忘年会	職員同士、また、職員 と入居者との親睦を 深める。	職員、入居者お互いの信頼 関係の構築に繋がった。	12月20日
選択メニュー	入居者の好みの食事 を提供し、苑での生 活に楽しみを持って いただく。	自己決定権の尊重に繋が った。	3か月に1回

(2) 退所状況

月	退所人数	退所理由
4月	5名	死亡
5月	3名	死亡・その他の医療機関
6月	2名	死亡・その他の医療機関
7月	4名	死亡
8月	5名	死亡
9月	2名	死亡
10月	3名	死亡
11月	4名	死亡

1 2月	3名	死亡・その他の医療機関
1月	2名	死亡
2月	なし	
3月	4名	死亡

## 2 高齢福祉部【短期入所生活介護】

### 活動実績

短期入所生活介護の利用者については、介護老人福祉施設の行事に参加した。  
職員については、介護老人福祉施設の研修や会議等に出席した。

## 3 地域福祉部【デイサービスセンター博愛苑】

### 活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
花見	デイサービスの魅力を知ってもらう。	利用者の増加に繋がった。	令和5年4月
ケーキバイキング			令和5年5月
ソーメン流し			令和5年7月
栄養アセスメント加算の取得	サービスの質の向上と健全な経営	令和6年3月末時点で64名の方に算定。 毎月50単位×25名程度	令和5年7月
夏祭り	デイサービスの魅力を知ってもらう。	利用者の満足度が高まり利用増加に繋がった。 (新規利用者及び利用回数増)	令和5年8月
敬老会			令和5年9月
運動会			令和5年10月
クリスマス会			令和5年12月
新年会			令和6年1月
節分行事			令和6年2月
ひな祭り行事			令和6年3月
フラワーアレンジメント教室	作業療法の充実	デイサービスへ通う事の意欲が高まった。	毎月実施
デイサービス会議	適正な業務運営のための業務改善とサービスの質の向上	利用希望者の増員に繋がった。今年度の年間延べ利用者数11,204名	毎月実施

季節ごとの行事には、すまいるステーションときぞうの子供たちと合同で行事開催し、交流を深めることで地域とのつながりを感じていただけた。



#### 4 地域福祉部【グループホームみのりの里】

##### (1) 活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
梅シロップ作り ハロウィンイベント 芋ほり・焼き芋	季節行事を通して他 部署との交流。	心身機能の活性化につな がった。	年3回開催
あじさいドライブ 紅葉ドライブ	季節を感じて、気分転 換を行う。	気分転換と認知症の進行 予防。	年2回開催
公民館祭作品見学 抹茶ボランティア	地域交流と気分転換 を行う。	地域交流が出来た。	年2回
花火大会 ちまきづくり 敬老会 クリスマス会 餅つき 新年会	季節行事を通して、四 季を感じてもらおう事 での気分転換を行う。	季節感を味わい、作業を通 通して手先の運動に繋が った。	年6回開催
誕生会	入居者に喜びを感じ ていただく。	入居者同士での会話のき っかけとなった。	該当月に開催
認知症研修	認知症に対する知識 の向上とケア充実を 図る。	正しい知識を習得し、サー ビスの質の向上に繋が った。	年4回実施
看取り研修	看取りに対する知識 と理解を深める。	生死感を学び、今後の看取 りケアに活かせる。	年2回実施

##### (2) 退所状況

月	退所人数	退所理由
4月	0名	
5月	0名	
6月	1名	その他の医療機関
7月	1名	
8月	1名	その他の医療機関
9月	2名	看取り・その他の医療機関
10月	0名	
11月	0名	
12月	0名	
1月	1名	博愛苑特養入所

2月	0名	
3月	0名	

## 5 地域福祉部【居宅介護支援事業所】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
認定調査員現任研修	適切な認定調査を実施するため	各認定調査時に、判断基準に沿って認定調査が実施できた。	令和5年8月
鳥取県介護支援専門員連絡協議会 意見交換会	ネットワーク作りのための他事業所との情報交換	ケアマネジメント業務のスキルアップに繋がった。	令和5年6月、9月、12月
居宅事業所連絡会	民生委員との交流	地域の現状把握と課題解決に繋がった。	令和5年6月
県地区 地域ケア会議	米子市の相談支援体制の把握	相談支援体制の確認と共有が出来た。	令和5年10月

## 6 地域福祉部【米子市箕蚊屋地域包括支援センター】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
県地区地域ケア推進会議	えしこに、包括等相談機関の周知	周知につながり、関係者との連携が強化された。	令和5年10月
巖地区地域ケア推進会議	地震発生の避難想定	地域の防災活動の促進に繋がった。	令和5年12月
春日地区地域ケア推進会議	大雨災害時の避難想定		令和5年12月
大高地区地域ケア推進会議	自主防災体制の構築		令和5年12月
地域ケア推進会議準備会	地域ケア推進会議の内容決定。	地域ケア推進会議開催	計8回
自立支援型地域ケア会議	自立支援に向けて、専門職を交えて個人ケースを検討する。	専門的なアドバイスを受けることで、より自立支援を深めることができた。	令和5年10月
地域ケア個別会議	高齢者の個別課題を、関係者で協議する。	困難ケースを関係者が集まって協議すること	計6回

		で、解決や情報共有を図ることができた。	
居宅研修会(障がい福祉)	障がい者福祉サービスと介護保険について学ぶ機会を設ける。	知識習得と、障がい者福祉、介護保険の関係者が、お互いの役割や困りごとの共有を行い、人脈作りができた。	令和5年8月
居宅研修会(事例検討会)	「気づきの事例検討会」でケアマネジャーの資質向上を図る。	ケアマネジャーの資質向上や情報交換につながった。	令和5年9月
居宅情報交換会(ケアカフェ)	箕蚊屋地域の薬局と全事業所をつなげ、連携強化を図る。	デイサービスやケアマネジャー、薬局等、情報交換、人脈作りが行えた。	令和5年11月
民生・在宅会議参加	地域の高齢者の情報共有を図る。	民生委員、在宅福祉委員から相談が増え、情報共有の機会が増えた。	計7回
運営推進会議参加	地域密着型事業の運営推進会議への参加が求められている。	他事業所の取り組みや地域の情報を伝えることで事業所のサービスの質向上に繋がった。	計15回
物忘れ相談プログラムの実施	「タッチパネル」で物忘れ検査の実施。	認知症の相談機関としての啓発に繋がった。	計6回
高齢者疑似体験・絵本教室	認知症の啓発活動として、小学校を対象に実施する。	地域の小学校実施し、高齢者を取り巻く環境を伝える事が出来た。	計6回
認知症サポーター養成講座	認知症の啓発活動として、地域から要請時に行う。	河岡地区で認知症サポーター養成講座や搜索訓練を行い、啓発活動に繋がった。	計3回
サロン活動支援	サロン活動の支援を行い、サロン継続を図る。	10か所のサロンの支援を継続中。	計51回
地域サポーター支援	サロンの活動内容について相談を受け、協議する。	活動内容の検討や、講師派遣により、地域サポート支援に繋がった。	計5回

地区講座	各公民館の健康講座と介護予防講座の実施。	地域住民への介護予防に繋がった。	計8回
リモート運動体験	フレイル対策課からの委託事業。	地域のフレイル対策に繋がった。	計24回
何でも健康相談会	健康対策課の地区担当保健師と、各公民館で相談を受け付ける。	家族や近隣住民からの相談が増えた。	計44回
健口機能向上事業	口の健康向上事業として、歯科検診と言語聴覚士の講座を行う。	10人参加あり。	令和5年11月
米子医療センター実習		6名(2人1組×3日間)実施。	令和5年10月11月
米子市センター会議	長寿社会課と各センターで毎月会議を行う。	他包括との情報共有が出来た。	計12回
総合相談部会	困難事例の検討と、総合相談に関する共有や検討を行う。	困難事例の共有・検討、市内全居宅のケアマネジャーとの協議。	計6回
地域活動部会	各包括の業務平準化を図る。	情報共有や必要事項の検討で、業務の平準化に努めた。	計2回
地域ケア会議部会	自立支援型地域ケア会議が、包括合同だったものが各包括単位に変更になったため、運営方法等検討する	会議開催の方法の検討や、実施後の情報共有を行った。	計2回
研修部会	主任ケアマネージャーや包括職員を対象とした研修会の実施。	主任ケアマネージャーの資質向上に繋がった。	計4回
認知症初期集中チーム会議	認知症または疑いのある方の初期対応を関係者で協議する。	解決には至らなかったが、対応方法は習得で来た。	計9回
法人内・法人外研修参加	法人職員としての資質向上。	法人職員としてのみならず、福祉施設の職員としての資質向上に繋が	計28回

		った。	
--	--	-----	--

7 地域福祉部【みのかや運動処よらいや】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
広報活動（パンフレット、チラシ配布）	地域の皆様に施設を知っていただき、新規利用者に繋げる	各公民館、近隣事業所等に配布し、年間27名の新規入会に繋がった	令和5年4月、7月、10月、令和6年2月
外部への体操講師派遣	地域貢献 地域住民の健康増進をお手伝いする	10件の講師依頼があり、公民館、集会所で実施し、利用者増へ繋がった。	令和5年4月、7月、8月、9月、10月、令和6年2月、3月
新規入会キャンペーン	新規利用者に繋げる	新規入会者が増えた。	令和5年6月、7月、9月
会員向けイベント	会員の満足度向上に繋げる	会員の運動意欲や満足度向上に繋がった。	令和5年8月 令和6年1月、2月
専門職による講話	フレイル予防対策の一環として実施 会員の満足度向上に繋げる 多職種連携を外部へPRする	専門的な知識を学ぶことで参加者の満足度が向上した。	令和5年12月 令和6年2月
満足度調査アンケート	ご利用者様の声を受け取り、サービス内容の見直し、改善を行う。	対象者61名。回収率78%。利用者の満足度向上。	令和5年11月
法人ホームページブログ記事掲載 法人広報誌記事掲載	地域住民へ日々の活動報告や、お知らせ等を発信する	定期的な情報発信により、利用者の満足度向上	毎月2回ブログ更新 令和5年6月、9月、12月、令和6年3月発行

8 障がい福祉部【就労継続支援事業所あそしえA型】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
利用者への一般就労を目指した研修	一般就労への移行を目指して、ビジネスマナーを身に着ける。	利用者の特性に合わせて研修を実施した。4月から法人内の特養に1名移行した。	月1回
あそしえA型・B型合同職員会議	A型・B型事業の情報と課題の共有を行う。	A型・B型の情報共有をすることでお互い職員が協力して事業を進めることが出来るようになった。	月1回

9 障がい福祉部【就労継続支援事業所あそしえB型】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
博愛苑で芋製品の販売	販売を通して、他の事業所との交流を行う。	他事業所の利用者や職員に干し芋などの芋製品の販売を行い、「おいしいけん、また買うわ」などの声があり、利用者もモチベーション高く作業が行えた。	週1回
事業所で地域に向けた販売	販売を通して、地域住民との交流を行う。	定期的に購入される方があるなど、地域住民にお芋作業をしているあそしえとして一定の認知をされ、地域の方から利用目的の見学があった。 利用者も自分が作った商品が売れることで、作業へのモチベーションにつながった。	月1回
地域のイベントへの出店	販売を通して、利用者の社会参加を行う。	地域の公民館祭やイベント、スーパーでの出店を行った。地域住民から覚えてもらい声をかけられる喜びと商品が売れる喜びを感じることが出来た。	令和5年1月2月から月1回

10 障がい福祉部【放課後等デイサービスすまいるステーションときぞう】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
他事業所交流 (餅つき体験・ネギの収穫体験・カヌー・染物体験・流しそめん・谷川散策・ミニ運動会)	他事業所と交流する事で利用者同士、職員同士が刺激を受け今後の活動に活かす事が出来る。	NPO法人いるかと交流した。 利用者のみならず職員間の交流も出来、お互いの支援を学び刺激を受ける良い機会となった。	令和5年度長期休暇中
他部署交流	GHとの交流	長期休暇の活動に数名の参加があり、一緒に活動する事が出来た。 放課後には、プレゼントを渡し交流する事が出来た。	令和5年
他部署交流	特養との交流	利用者誕生会に、プレゼントを持参する事が出来た。 放課後は、一緒に散歩に出かける事が出来、良い季節の中で子ども達と外気を感じ喜ぶ利用者の顔を見る事が出来た。 畑を利用し、自然な交流ができ、収穫は一緒に喜ぶ事が出来た。	令和5年
他部署交流	DSとの交流	他部署交流で運動会の行進を行い、職員も利用者もあたたかく受け入れが出来る環境が整った。	

11 障がい福祉部【生活介護ときぞう】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
調理実習	計画、買い物、調理、片付けまでを利用者と一緒に行い、生活力の向上を行う。また、他部署との交流	利用者が食べたいものなどを計画することで、自ら調理に関わり楽しみながら生活力の向上につながった。	月2回

	もおこなう。		
外出支援 (がいなロード、お花見、アート展など)	行き先などの計画を利用者と一緒の行い、生活力、社会の向上を行う。	利用者の行きたいところいけることもあり、利用者の満足度向上と利用予定日でない人も参加するなど楽しみの提供ができた。	月2回
養護学校の学生の実習受け入れ	学校卒業後の進路の1つとして事業所の情報提供を行う。	令和6年4月から2名の利用が決定する。	年4回
強度行動障がい研修	強度行動障がいの支援について学ぶ。	実際の強度行動障がいの支援の実態など事例から自事業所の利用者の支援に取り入れ、支援の充実を図った。	令和6年1月
ICT 機器支援スタッフ育成研修	医療ケア児等へのICT 機器を使用した支援の実習を学ぶ。	実際の ICT 機器を導入した支援の事例などを、学んだ。すぐできる取り組みとして、iPad のアプリを利用した支援を提供を行い、利用者とのコミュニケーションがより図ることが出来た。	年5回

## 1 2 障がい福祉部【相談支援事業所りんく】

### 活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
自立支援協議会相談支援の充実を図る会に参加	新設事業所などの情報収集と事例検討を行い、支援の充実を図る。	米子市の相談支援の現状、福祉サービスの状況の把握。困難事例の対応により、支援に対する考えの幅が広がった。	月1回





#### IV 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の2第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しておりません。